

## 令和4年第9回大仙市教育委員会定例会議事録

令和4年第9回大仙市教育委員会定例会を令和4年9月26日(月)午後3時30分から神岡農村環境改善センター多目的ホールにおいて開催した。

### 出席者

教育長	伊藤雅己
委員	小笠原晃
	工藤浩一
	高見文子

### 説明員

事務局長	築地高
次長兼教育総務課長	田口広龍
次長兼教育指導課長	大阪瑞穂
次長兼施設管理課長	讚岐敬司
次長兼学校給食総合センター所長	佐藤正道
生涯学習課長	八嶋洋晃
総合図書館長	伊藤ひろみ
総合市民会館長	品川雄喜
参事兼教育研究所長	小松文彦
神岡中央公民館長	齊藤浩志
大綱交流館長	齊藤良子
中仙公民館長	高橋千秋
協和公民館長	阿部成吾
南外公民館長	佐藤マキ
仙北公民館長	竹村智子
太田公民館長	草薨晶子

### 書記

教育総務課参事	佐藤到
---------	-----

### 付議案件

なし

伊藤教育長

皆様、御出席ありがとうございます。先ほどの教育委員研修視察はお疲れさまでした。引き続き、定例会となりますが、よろしく願いいたします。

本日は、中島委員と伊藤委員から欠席の届出がございました。定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。

ただいまから、令和4年、第9回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

書記に、佐藤参事を指名します。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

日中は汗ばむこともありますが、朝晩は肌寒さを感じる季節になりました。新型コロナウイルス感染症については、各学校からの新規感染者等に関する報告も少なくなってきており、児童生徒の陽性者は減少傾向にあるように感じております。しかしながら、まだまだ安心できる状況にはなく、感染経路が不明な陽性者が複数出るなどの状況を踏まえて、学級閉鎖等の措置を講じております。陽性者の自宅療養期間の短縮や新規陽性者の全数把握の見直しなどの社会情勢を踏まえながら、引き続き、校内での感染が拡大しないよう、各学校と連携しながら対応してまいります。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

最初に学校教育関係です。9月21日から学校訪問を再開しております。今月は4校の予定です。ようやく半数を超えたところですので、引き続き委員の皆様のお協力をよろしくお願いいたします。

一方、田沢湖一周駅伝や郡市の新人大会が予定どおりに開催されております。新人大会の正式な結果はまだ届いておりませんので、結果は次回定例会で報告します。まずは、コロナ禍でも実施できたこと、本市内中学生の活躍と上位大会での活躍を期待しているところです。また、8月27日に開催されたアンダー16陸上競技大会で、南外中の3年生がジャベリックスローというやり投げのような種目で全県優勝し、全国大会出場を決めております。先日9月23日には、南外小学校の創立10周年記念式典に出席しました。他にも節目を迎えた学校があり、記念式典の開催や記念誌の発行などを計画しているようです。本来であれば盛大にという思いが強いところですが、コロナの状況を踏まえて、地域や関係者の意見を聞きながら学校ごとに対応を決定しております。市教委といたしましても、各学校の意向に沿って対応してまいります。

社会教育関係では、毎年恒例の市民囲碁大会が開催されました。今年も、コロナの影響で例年よりやや少ない人数での大会となりましたが、審判長に日本棋院のプロ棋士をお迎えするなど、コロナ禍以前に近い形で実施することができました。9月24日には、大仙民話の会の創立20周年記念事業に出席しお祝いの気持ちを伝えております。地元で語り継がれてきた民話を大切にとの思いから、基調講演や秋田弁での昔っこの語りが行われております。「ふるさと探訪楽園ツアー」の秋バージョンも予定どおり行われ、10月以降も各地域で実施の予

定です。

部局との連携行事は、「払田柵跡」の記念シンポジウムに参加しております。また、9月17日から全県500歳野球が開催され、教育委員会事務局員の多くが業務に従事しております。

児童生徒の安全・安心面では、特に大きな事故等はございませんでした。新型コロナウイルスの影響については、現時点までに資料の学校が学級閉鎖等しております。新規感染者数が減少傾向にあるとはいえ、この時期は、学習発表会等の大きな行事や各地域行事も行われることから、引き続き、校内での感染拡大防止を最優先に対応してまいります。

その他、今回の市議会での教育委員会関係の一般質問答弁を資料ナンバー1として配付しておりますので、後ほど御覧ください。また、市内に保育所の整備を予定している法人より、市内の小学校に英会話ロボットを1台ずつ寄贈されております。効果的に活用できるよう市教委で操作方法等を確認してから各小学校にお届けする予定です。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

#### 教育総務課長

それでは、2ページを御覧ください。教育総務課は4項目ですが、4項目目にあります「中仙・太田地域学校再編庁内検討委員視察研修」についてです。明日、湯沢北中学校と湯沢東小学校の施設を視察してまいります。この2校は1つの校舎に小・中学校が同居しているタイプのもので、今後の参考になればということで視察してくるものです。教育総務課は以上です。

#### 伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

#### 教育指導課長

教育指導課は、2ページにあるとおり5点と、※印を2つ付けております。

2番の「第1回大仙市教育支援委員会」ですが、令和5年度の就学児童を対象に協議が行われました。10月に第2回が行われますが、こちらは現在小・中学校に在籍している特別支援学級の児童生徒について協議いたします。

それから、新人戦が23日から行われていますが、野球の決勝のみ残っているところです。

また、教育委員会訪問が新たにスタートしました。教育委員の皆様方の御指導と御助言に感謝しております。

※印の修学旅行について、今年度はおおむね順調に行われています。小学校において、宿泊施設でコロナが事前に発生したために延期せざるを得なくなっ

たところがありました。それ以外は行われております。

学習発表会ですが、9月上旬に学校でコロナ感染者数が増えたことでの延期が1校ありましたが、そのほかは密を防ぐなどの感染防止対策を徹底して行われております。以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは工事関係ですが、「中仙市民会館図書室空調設備改修工事」が着工しました。工期は来年1月16日までとなっております。以上です。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の2項目のとおりで、1番の、募集対象者を市内の小学5年生の児童とした「第12回ふるさと給食献立コンテスト第二次審査会」を9月6日、学校給食総合センターで行いました。最終審査は10月11日を予定しております。このコンテストで最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品は、11月中に各給食センターの献立に採用される予定となっております。以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課は、3項目となります。

1番の「第18回大仙市民交流囲碁大会」ですが、先ほど教育長からも報告がありました。9月4日に大曲交流センターで開催されました。本大会は、日本棋院大仙支部と本市の共催で、大仙市誕生を機に囲碁の普及拡大と市民協働のまちづくりを目的にこれまで開催されております。当日は、日本棋院5段の平野則一氏を審判長としてお招きし、参加者は58人、下は小学生から上は秋田市からお越しの93歳の方まで世代や地域を越えた交流が図られております。生涯学習課からは以上です。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

#### 総合図書館長

総合図書館からは3項目記載しております。

2項目と3項目目につきましては、図書館内の見学ですが、9月16日に内小友小学校の2年生15人、今週末には花館小学校の2年生80人からの参加を予定しております。図書館の本を実際に借りる体験などをしていただき、本に親しむ習慣づくりに役立てていただければと思いますながら、案内をしております。総合図書館からは以上です。

#### 伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

#### 総合市民会館長

総合市民会館は、4項目記載しております。

2番については貸館業務ではありますが、「福田こうへいコンサート」が9月17日に、昼も夜の部もほぼ満席の状態で開催されております。

3番の「林家木久扇のちょっといい話」という講演会につきましては、9月25日日曜日、350人の御来場があり、皆さん楽しんで帰られたところです。以上です。

#### 伊藤教育長

次に、花館公民館長は欠席ですので、代わって生涯学習課長からお願いします。

#### 生涯学習課長

花館公民館は、大曲地域の公民館で所管している事業等8項目を記載しております。

そのうち1番ですが、9月11日、四ツ屋地区では、小学校を会場に「地区民運動会」を3年ぶりに開催しております。地域の方々約400人に参加いただいております。当日は好天に恵まれ、コロナ対策として密になる種目を避けながら子どもから高齢者まで参加できるプログラムに再編し、世代や地区を越えて大いに親睦を深めております。

2番の大川西根、内小友の各地区民運動会は、コロナ感染拡大により残念ながら中止となっております。今後、花館地区では10月に地区民運動会が予定されております。コロナ禍の中でも特色ある地域の行事を進めてまいりたいと考えております。花館公民館は以上です。

#### 伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

#### 神岡中央公民館長

神岡中央公民館は、3項目記載しております。

2番の「おもしろ講座日帰り研修」について、普段はビデオシアターホールで講師を呼びお話を聞いておりますが、年1回は日帰り研修を実施しております。昨年、一昨年はコロナの関係で中止となり、3年ぶりの実施でありました。今回は秋田城跡歴史資料館と土崎港歴史伝承館に行き、受講生の親睦を深めることができました。神岡中央公民館からは以上です。

#### 伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

#### 大綱交流館長

大綱交流館は、8項目記載しております。

5番の「大綱米プロジェクト稲刈り作業」について、大綱ファーム、大綱引保存会の指導により実施しました。午前中は小・中学生の予定でしたが、西仙北小学校で新型コロナが拡大してしまったため小学生は中止とし、西仙北中学校3年生50人と西仙北地域の2つの保育園児童で稲刈りを行い、午後は西仙北高校全校生徒で稲刈り及びハサ掛け作業を行いました。約160人の参加となりました。大綱交流館からは以上です。

#### 伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

#### 中仙公民館長

中仙公民館は、6項目記載しております。

4番の「中仙公民館清水分館まつり」についてですが、9月10日、11日の2日間開催しております。昨年同様、開催内容を縮小し、芸能発表は行わずに作品展示のみの開催となりました。展示内容は、清水小学校、中仙中学校児童生徒の作品と、一般の方々の生涯学習作品が展示されております。来場者は、2日間で103人でした。中仙公民館からは以上です。

#### 伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

#### 協和公民館長

協和公民館は、11項目記載しております。

10項目目の「協和小学校フィールドワーク」ですが、1・2年生で54人の参加となっております。こちらは、地域学校協働活動事業として仙人大学の健康学部が各グループを引率する形で開催しております。

また、11項目目の「ふるさと探訪楽園ツアー」は、15人の参加となっております。以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館は、6項目記載しております。

6項目目の「南外中学校『小さな拠点』活性化会議地域活性化プラン発表会」ですが、先ほど研修会で神岡中央公民館長が神岡地域の活動について触れておりましたが、市の地域活動応援課が地域ごとに拠点を定め、拠点を有効活用して新たなにぎわいを作り出そうと実施している「彩色千輪プロジェクト（地域拠点利活用活性化事業）」の一環として、南外中学校の2年生が南外地域の拠点を活用した地域の活性化について検討しており、そのプランを発表する会が9月30日に予定されております。この事業では、そのほか南外中学校の1年生が「南外さいかい市」の手作りスイーツのパッケージをデザインしており、来月南外地域祭で販売を予定しております。以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は、4項目挙げております。

1つ目の「自衛消防通報訓練」は、管理人向けの訓練で、初期消火や消防への通報の仕方について、実際に通報して確認したところです。

2つ目の「園小中連携協議会」は、本日の午前中に開催し、これからの園・小・中・行政のそれぞれの事業への関り方について協力を要請したり確認し合ったりしたものです。以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館は、3項目記載しております。

2番の「山登り教室」について説明いたします。この教室は、安全で楽しく登山するために、昨年の10月から毎月1回1年を通して学ぶ教室です。4月までは座学で基礎を学び、5月からは実際に山登りを行って技術を習得しております。今回のコースは、真木溪谷の奥、薬師登山口から入り大甲、甲中ノ沢分岐を周るコースでした。天気も良く絶好の登山日和で、11人が無事登頂することが

できました。次回の登山は、10月2日、駒ヶ岳を予定しております。太田公民館からは以上です。

伊藤教育長

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

工藤委員

太田公民館長さんに質問です。

毎月ずっと山登り教室を実施されていますが、これは県や美郷町が絡んでいる事業と関係があるのでしょうか。

太田公民館長

真木真昼県立自然公園内でも実施していますが、これは元々5、6年前から太田地域の山に精通している方がぜひ開催したいとして公民館と共催で実施している事業です。

工藤委員

県や美郷町とは全く別の事業なのですね。ありがとうございます。

伊藤教育長

地域に根差して作られてきた事業ということです。

ほかにはいかがでしょうか。

高見委員

各小学校に寄贈される英会話ロボットとは、どんなイメージのものなのか教えていただけますか。

教育指導課長

専用テキストに沿ってこちらから質問をするとお話してくれるもので、完全な自動会話というものではないのですが、子供たちが英語に接することができる良いツールになるのではないかと考えております。

高見委員

ロボットというと大きなイメージがありますが、どの程度の大きさですか。

教育指導課長

縦20センチ、横30から40センチくらいの箱に入っているくらいの大き



さになります。

伊藤教育長

見かけは、ぬいぐるみのようなものでした。説明にあったように、シナリオがあり、それに沿って会話するような形でした。自由に会話できるものとはちょっと違っていました。今、市教委の担当が使い方を研究しておりますので、使い方を例示しながらこの後各学校にお届けしたいと思っております。学校訪問で目にする機会があるかもしれません。

小笠原委員

関連して、この法人とは何か御縁があったのでしょうか。若しくは、法人が全国的に寄贈しているなどのことでしょうか。

伊藤教育長

オンラインでしたが、贈呈式に出席した私がお答えします。この法人は、社会福祉法人や学校法人を運営しており、たまたま縁があり大仙市のイオンの裏側辺りに保育園を建てるということで動いております。順調にいけば来年度にはオープンの予定と伺っております。その法人の社会貢献の一環として大仙市の小学生に向けたプレゼントということでご伺っております。

ほかにはよろしいでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

今回は付議案件がありませんので、次に、その他に入らせていただきます。

はじめに、G I G A端末の持ち帰りに関する調査について御報告いたします。教育研究所長、お願いします。

教育研究所長

それでは、G I G A端末持ち帰りに関する調査について御報告いたします。

資料ナンバー2を御覧ください。

7月20日から8月21日の夏休み期間に、市内30校の小学3年生から中学3年生を対象に、タブレット端末の持ち帰りを実施しました。対象となった児童生徒数は4,085人です。その中で、オンライン整備率は対象の97%でありました。市からは、ネット環境の整っていない家庭に向けてWi-Fiルーターの無償貸出しを行いました。

持ち帰り時の課題につきましては、オンラインとオフラインの2つの課題に分けて各校の実態に応じて準備をしていただきました。具体的な課題について

は、資料にあるとおり一行日記や、健康観察、先生方による自作課題、レポート等が出されていたようです。

タブレットのトラブルや不具合については、紛失や盗難はないものの、画面の破損、故障等が数件発生しました。

夏休みが終わって、その後の持ち帰りについても調査をしたところ、毎日の持ち帰りが4校、必要に応じて課題を出した際に持ち帰る学校が26校ありました。御報告は以上であります。

伊藤教育長

資料に、詳しい内容が書かれてあります。ただいまの件につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員

課題について、オンライン、オフラインで出されていることについて学校差が見受けられるとのことですが、オンライン、オフラインの割合はどのようになっているのでしょうか。

教育研究所長

割合として数字ではお示しできませんが、オンラインでは、日常の健康観察の延長として、休み中の健康観察を最初の10日間程度実施したり、一行日記をオンラインで実施したりしている学校がありました。オフラインでは、ネット環境が無くても課題に取り組めるMetamojiというソフトを使っている学校がありました。

工藤委員

もう少し詳しく聞きますと、オンラインを使って取り組んだ学校は何校ぐらいあったのですか。

教育研究所長

ある程度の期間を継続してオンラインを利用したところと、1回のみ利用したところを合わせると3分の2以上、20校以上になります。

工藤委員

その際に何かトラブルはありましたか。

教育研究所長

資料中の、不具合・トラブル対応のところに書いてありますが、端末の初期化がときどき起き、初期化されデータがなくなってしまうことがありました。機械が自動でアップロードするときに保存する場所を間違えて置いておくとデータ

がなくなってしまうことが数件あり、対処方法を調べているところです。

伊藤教育長

消失の事案20校というのが、そういう例を指しているのですか。

教育研究所長

はい。保存したデータがなくなってしまった件に当てはまります。

伊藤教育長

大きな問題ですので、この後対応をお願いします。

つながらないというトラブルはどうでしたか。

教育研究所長

接続方法については、各校に電話での問合せがあったようですが、その際に先生方が対応してくださったので、ずっとつながらなかったということはなかったようです。

伊藤教育長

学校のところで解決できたということです。

小笠原委員

タブレットのバックアップはどのようにしているかを1つ、それから、特に低学年ですと教科書が重いということが話題になりますが、タブレットを持ち帰る際にそういった声は出なかったものでしょうか。

教育研究所長

最初にバックアップについてですが、タブレットの中に「ワンドライブ」というところがあり、そこに保存することでデータがしっかり残されます。それをせずにいると、バックアップが取れずデータが全部なくなり、一から作り直しということになるようです。

それから、重さについてですが、以前、会議の際にその話題になり、学年に応じて教科書を置く「置き勉」をお願いしておりました。タブレット自体の重さは1.5キログラムぐらいで教科書にすると何冊か分になりますので、その分を学校に置かせてもらい、あまり重くならないようお願いするという対応をしております。学校によっては、タブレットの損壊を心配し、タブレット専用のバッグを購入して子供たちが使用しているというところもあるようです。

伊藤教育長

夏休みの持ち帰りは、小学3年生以上として試したところです。この後また対

象学年等を考えながら実施していくことになると思います。

ほかにはいかがでしょうか。

工藤委員

液晶の破損が4件あったことについて、対応状況を教えてください。

教育研究所長

保守に関しては、業者に対応をお願いしていました。修理が必要なものは業者が引き取り、修理ができるまで代替機を使ってもらうという対応をしております。

伊藤教育長

基本的に、通常の使い方の中であれば補償されるということでもいいですか。

教育研究所長

そのように捉えております。

伊藤教育長

その辺りについて、後で確認をお願いします。

まずは今回の結果を受け、更に今後に向けてどのようにしていくかを整理しながら対応を考えていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

では次に、全国学力・学習状況調査について御報告いたします。

教育研究所長、お願いします。

教育研究所長

それでは、全国学力・学習状況調査について御報告いたします。

資料は、資料ナンバー3であります。

同調査は、4月19日、小学6年生、中学3年生を対象に行われました。

調査結果については、中学校では全ての教科が全国と本県の平均正答率と同程度か上回っていることから、良好な状況であります。小学校でも、全ての教科で全国を上回っておりますが、本県との比較では下回っており、内容別、観点別、問題形式別等に課題が見られました。

これまでの、各校における「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した課題解決型の授業づくりによって、着実に児童生徒は学力を付けてきておりますが、各教科に共通して、目的や意図に応じた記述に課題が見られることから、市教委としては、基礎知識を思考力、判断力、表現力等に反映させるような単元づくりやカリキュラム・デザイン、幼保・小・中・高・大・地域の連携を踏まえた授業づくりを積極的に推進し、「総合的な学力」を身に付けた児童生徒の育成を目指して、各校の取組を支援していきたいと思っております。御報告は以上です。

伊藤教育長

この件について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員

下の方の「教育委員会としては」からの部分で「積極的に推進し」とありますが、どのようにやられていきますか。

教育研究所長

記述の課題ですが、今回、小学校では算数で弱い点が見られました。領域ですと、図形の学習について少し苦手としております。そこは校長会等でも市の現状を伝え、記述する際のしっかりとした理由を付ける、友達との交流をしながら納得できる形で説明したり、図形を作図したりといった力を具体的に付けていくということを各学校に示したいと思っております。

それから、小・中・高・大・地域連携ということも、総合的な学力として必要となってきます。現在、大仙メソッドで小・中連携をしており、小学校は、幼保と常に情報交換や交流をしております。西仙北地域では、先ほど大綱プロジェクトの話もありましたが、園・小・中・高の4つがつながって交流をしております。また、コロナで止まっていたA I Uとの連携も2つの中学校で実施を始めておりますので、そういった取組を市教委でも応援しながら総合的に進めて行ければと考えております。

伊藤教育長

9年間で育てるという視点もありますし、地域全体でといった視点もあります。例えば6年生であれば、去年どうだったのか、あるいは来年度へどのように引き継ぎ、中学校で更なる向上を目指していくかということについて、連携が大事だと考えております。

また、質問紙の方ですが、学校が楽しいとか、地域への思いなどの面についてもこの後、本市の実態を冷静に分析する必要があると思っております。総合的な学力という話がありましたが、教科のところのみならず、質問紙の方も含めて本市の子供たちの状況を捉え、更に高いレベルに持って行くための教育ができればと思っております。

ほかにはいかがでしょうか。

高見委員

単純に棒グラフだけ見て、中学校になると理数系が下がります。小学校と中学校の間に勉強の壁があるとすると、その解消が課題になると思われま。この点について、どのようにお考えでしょうか。

教育研究所長

棒グラフのとおり、理数系を苦手に行っていることは本市の課題であります。今年度のテストに関しては、理科の全国の平均正答率が50%を下回り難易度の高い問題でありました。数学も、全国が50%を少し上回る程度ですので、やはり内容的には難しい問題が出題されたということになります。

小から中への壁について、学習内容の難しさは、小と中ではかなり違ってきています。英語に関しても、小学校では楽しんでやる英語が主となりますが、中学校では記述や文法など、少しレベルの高い学習に入ります。そのギャップを、我々教員が穴埋めしていくことが本市の大きな課題だと思いますので、御指摘の点を改善できるよう努力していきたいと思います。

伊藤教育長

逆に、全国的な課題でもありますので、自分たちの指導について整理してまいりたいと思います。

ほかにはいかがでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では次に、10月の定例記者会見で発表する事業についてお知らせいたします。

教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

資料ナンバー4を御覧ください。

こころのプロジェクト「夢の教室」の開催についてであります。

こころのプロジェクト「夢の教室」は、スポーツや芸術等、様々な分野の第一線で活躍している方々を「夢の先生」として小・中学校に招き、平成22年度から実施しております。

今年度は、新しく秋田出身のプロの冒険家の阿部雅龍さんをお招きして行います。1つは冒険バージョンということで、阿部雅龍さんを講師としてお迎えして、太田中学校と花館小学校での実施を予定しております。もう1つはスポーツバージョンということで、北都銀行バドミントン部の選手お二人をお迎えして、平和中学校で10月の下旬に予定しております。事業については以上です。

伊藤教育長

この事業について、何か御質問等ございませんか。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

もし興味がありましたらせっかくの機会ですので、お声がけくだされば会場まで御案内いたしますので、お申し込みください。

それでは、その他のことについて、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

小笠原委員

生徒指導提要在改訂されて、校則の見直しということが言われているようですが、これは主に高校や中学校の問題だと思います。本市の中学校で校則を定めている学校というのはあるものでしょうか。なかったように思いますが、あればどれくらいの学校で見直しを図ったか教えてください。

教育指導課長

校則という形である中学校はございません。もちろん小学校もございません。児童生徒が主体となって考えた心得というものがある中学校が8校あります。それから、以前から引き継いでいる生徒心得があるのは2校ほどです。細かなものはそれほど多くないように思います。学校訪問では、中学校の先生たちと生徒会で話し合っていて決めているところもあるようでしたので、少しずつそういった形の生徒指導も出てきていると認識しております。

伊藤教育長

中学生サミットでもSDGsの視点からそういった面の話も出ていたようですので、この後各学校で生徒たちとの関りの中で対応していくものと思います。

ほかにはございませんでしょうか。

高見委員

中学生サミットで思い出しましたが、制服について、女子がスカートだけというのはどう思うかということで、スラックスも着用できるよう話し合うという学校もあったと思いますが、制服についてはやはりこれからは生徒たちから声が出て変わっていくものなのではないでしょうか。

事務局長

中学校の制服に関しては、各校とも基本的な制服は学校で決めていました。ただ、先日の中学生サミットで、ある中学校では女子もスラックスを履けるように取り組んでいくという流れができております。中学校でも制服指定はありますけれども、女子がスラックス等を履きたいというときは個別に対応して、希望

があれば履けるような態勢はどの学校でもとれていると聞いております。

実際、全国でもいろんな制服から選べる時代になってきていますし、昨年度からも校長会、教頭会等で、校則に関しては生徒と保護者も交えて議論して作っていきけるようなものにしていければという話をしていますので、この後もそういった動きが進んでいくのではないかと考えております。

伊藤教育長

この機会に、スカートやスラックスの実態を把握してみたいと思います。  
ほかにはよろしいでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

では、教育総務課長から、次回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

次回定例会は、10月21日金曜日午後3時30分から、大曲庁舎3階大会議室で開催したいと考えております。よろしくをお願いします。

伊藤教育長

今回は、10月21日金曜日、午後3時30分から、大曲庁舎3階の大会議室ということですので。よろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

では、そのような予定で進めさせていただきます。  
本日の日程は、全て終了いたしました。以上で定例会を閉じます。  
ありがとうございました。お疲れ様でした。